

身近なインフラの 現状を中高生学ぶ

前田道路、府中市道路
管理センターで見学会

前田道路は学生を対象とした見学会を東京都府中市道路管理センターで6月16日に開いた。明星中学校・

高校（府中市）の学生が訪れ、身近な道路の現状や管理業務の仕事などを学んだ。写真（報道発表資料から）。

府中市と明星中学校・高校は「地域活性化に関する協定」を締結。見学会は「府中市インフラマネジメント計画」の普及に関する連携活動の一環で行った。同センターは市が「道路

等包括管理事業」を全市域に導入することに伴い、2021年4月に開設した。道路に関する市民の要望・



相談の受け付けや道路・植栽管理、清掃作業などを複数年で包括的に発注。民間

の創意工夫を生かし市民サービス向上や管理経費の削減に取り組んでいる。

見学会では、事業を受託している前田道路の瀧口泰次業務統括責任者が業務内容を説明。学生たちは市民の要望・相談に答える様子や事務所を見学した。前田道路は「学生にとっても身近なインフラ管理の現状を確認するきっかけとなり、市が進めるインフラマネジメント計画の普及にも貢献できた」としている。

